

臨床心理学研究法

[講義] 第1学年 後期 選択 2単位

《担当者名》西郷 達雄 野田 昌道 関口 真有 金澤潤一郎 本谷 亮 金山 裕望 柳生 一自 齊藤 恵一 磯部 太一 百々 尚美 富家 直明

【概要】

修士論文の作成を行うにあたり必要となる知識と技術を修得する。

【学修目標】

実験研究、調査研究、事例研究など、様々な臨床心理学的研究を行うにあたり必要な統計知識を身につける。
研究倫理について知り、その知見や態度を研究に反映させることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	研究倫理	研究倫理・生命倫理の成り立ちと背景、研究・臨床現場での倫理問題、倫理審査委員会、調査研究の倫理	磯部 太一
2	分布と確率	確率、確率変数と確率分布、母集団分布と標本分布	齊藤 恵一
3	ベイズ統計、潜在ランク	不確実性評価、ベイズ統計、潜在ランク理論	富家 直明
4	臨床統計	RCTデザイン、生存分析	柳生 一自
5	構造方程式モデリング	因子分析、パス解析、共分散構造分析、適合度	本谷 亮
6	マルチレベルモデル	階層構造、変量切片モデル、変量傾きモデル、級内相関係数	本谷 亮
7	生理実験統計	自律神経、脳波分析と統計	百々 尚美
8	メタ分析	系統的レビュー、メタアナリシス	関口 真有
9	質的データ分析	Steps for Coding and Theorization(SCAT)、テキストマイニング	西郷 達雄
10	質的データ分析	grounded theory approach(GTA)、	野田 昌道
11	ノンパラメトリック分析	Wilcoxonの順位和検定、Kuraskal-Wallis検定など	金山 裕望
12	行動観察法	産物記録法、時間見本法、連続記録法	金山 裕望
13	因果推論	媒介分析、判別分析、多変量重回帰分析	金澤潤一郎
14	一般化線形モデル	一般化線形モデル、混合モデル、一般化線形混合モデル	金澤潤一郎
15	発達データの分析	縦断データの分析、潜在成長モデル	金澤潤一郎

【授業実施形態】

遠隔授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

レポート100%（各単元から出題されているレポート課題のうち自由に選んだ課題を提出してください）

【教科書】

オリジナルの講義資料を用いる。

【学修の準備】

各単元において提供される参考文献や資料については熟読すること。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

D P 3 : エビデンスに基づく心理支援を実施でき、臨床心理学の学術研究の推進に寄与できる研究能力を有している。

D P 1 : 心に関わる社会的諸課題について臨床心理学や関連諸科学の学修を通じてそれらの解決方法に関するアプローチを立案し実行する能力を有している。

本科目は上記のディプロマ・ポリシーに適合している。

【ICTの活用】

・ Google Classroomを利用して資料及び課題等を提示する